

平成 26 年度の予算

平成 26 年度予算をお知らせします

* 当初予算合計 *

601 億 9,330 万円 前年度対比 + 3.4%

一般会計 365 億円 (前年度対比 + 0.8%)
特別会計 194 億 2,930 万円 (前年度対比 3.5%)
公営企業会計 42 億 6,400 万円 (前年度対比 31.6%)

特集
まちのお金の使い方



「人かやいて10年
夢きらめいて未来」

これは、市民公募の中から決定した、市制10周年のキャッチフレーズです。これまで10年間の市民の輝きを表現するとともに、未来に向けて、笑顔があふれ、新たな夢がきらめくまちに向けて、発展・飛躍しようという思いが込められています。

この節目の年となる平成26年度当初予算は、一般会計が365億円となり、前年度対比0.8%の増加、また、特別会計と企業会計を加えた全会計では、601億9,330万円で、前年度対比3.4%の増加となりました。

これらの予算をもとに、市長3期目の所信表明の5つの基本方針である
①「安心して暮らせるまちづくり」
②「元気で活力のあるまちづくり」
③「歴史、文化、芸術、スポーツが息吹くまちづくり」
④「環境にやさしいまちづくり」
⑤「信頼される行政」

をテーマに、「誇りの持てる住んでよかった丹波市」の実現に向けて、着実に取り組みます。

② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

(単位：万円)

会計別	主な使い道	予算額	増減率 (%)
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	763,800	1.5
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	21,740	△ 2.4
介護保険特別会計保険事業勘定	65歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	651,100	7.4
介護保険特別会計サービス事業勘定	地域包括支援センターの運営	6,750	9.9
後期高齢者医療特別会計	75歳以上の方を対象とした医療給付	86,200	6.6
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	1,920	9.7
下水道特別会計	公共下水道や農業集落排水施設の維持管理・建設など	391,300	1.2
地方卸売市場特別会計	卸売市場の改修工事など	430	38.7
駐車場特別会計	月極・一時駐車場施設の管理	1,340	7.2
農業共済特別会計 (収益的収支)	農業共済金、無事戻金の支払いなど	18,350	△ 6.8
総合計		1,942,930	3.5

③ 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

(単位：万円)

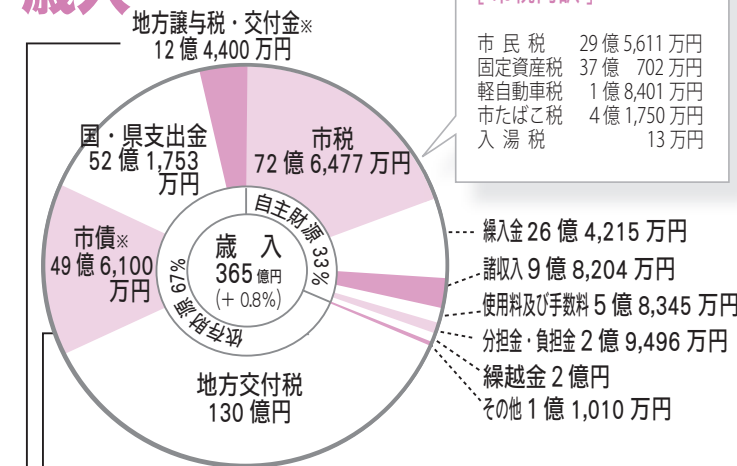
会計名	主な使い道	予算額	増減率 (%)
水道事業会計 (収益的収支)	浄水施設などの維持管理・水道施設整備など	215,400	24.5
水道事業会計 (資本的収支)		211,000	39.6
企業会計合計		426,400	31.6

注) 水道事業会計 (資本的収支) の予算額は、収入と支出を比較し、多い方で表示しています。

① 一般会計 365 億円

前年度対比 + 0.8%
福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

歳入



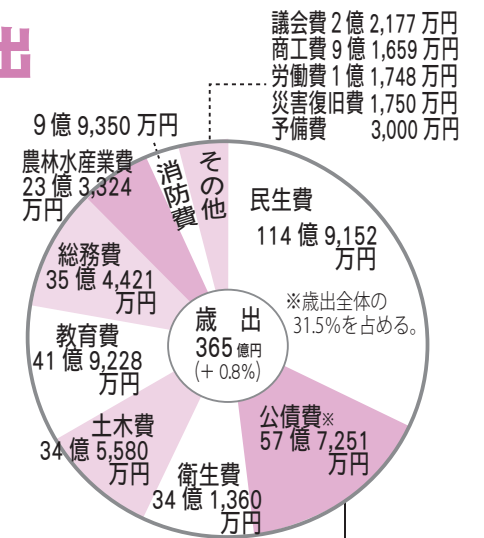
※ [地方譲与税・交付金]

地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

※ [市債]

道路整備や学校建設など、一度に多くのお金がかかる事業は、その年の収入だけでは賄いきれないので、国や銀行等からお金を借りて実施します。このお金を市債といいます。今年度の主な事業として、道路整備事業、幼保一元化事業などがあります。

歳出



※ [公債費]

市債 (借金) の元金と利子の返済に要するお金。平成13年度から公債費は毎年度増加傾向にありました。しかし、繰上償還を平成17年度から平成24年度にかけて約140億円、平成25年度には約21億円を行うことにより、市債残高が平成17年度に比べ約102億円減少する見込みです。

歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主性・安定性があるとされています。

自主財源
市独自の収入 120億7,747万円

依存財源
国や県からの補助など 244億2,253万円



今後の課題！



「自主財源」の比率は33%で、中長期的にも市税を中心とした自主財源を増やし、財政基盤を強化することが必要です。

「一般会計歳出」

歳出は、前年度対比で0.8%の増加となっています。

※総務費 防災無線整備事業、分庁舎管理事業などの減額により、前年度対比12.1%の減少となっています。

※民生費 臨時福祉給付金事業、障害福祉サービス等給付事業、幼保一元化事業などの増額により、前年度対比11.0%の増加となっています。

※衛生費 水道事業会計繰入金、新・省エネルギー普及事業などが増額していますが、一般廃棄物処理施設建設事業などの減額により、前年度対比4.2%の減少となっています。

※労働費 緊急雇用就業機会創出事業の増額により、前年度対比67.6%の増額となっています。

※農林水産業費 木質バイオマス利活用事業などが増額していますが、中山間地域総合整備事業、林業補助金交付事業などの減額により、前年度対比3.8%の減少となっています。

※商工費 商工振興事業、観光振興事業の減額により、前年度対比1.3%の減少となっています。

※土木費 国庫交付金等道路整備事業などが減額していますが、橋りょう長寿命

化事業などの増額により、前年度対比0.2%の増額となっています。

※消防費 消防団管理事業、庁舎設備整備事業などの減額により、前年度対比25.1%の減少となっています。

※教育費 小学校施設整備事業などが減額していますが、ホール管理事業、教育情報化事業などの増額により、前年度対比8.8%の増加となっています。

※災害復旧費 道路・河川の災害応急復旧事業の増額により、前年度対比40.0%の増加となっています。

※公債費 繰上償還の実施に伴う利子効果額の影響などにより、前年度対比2.6%の減少となっています。

【用語解説】

※ 地方交付税

市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

※ 国庫支出金及び県支出金

国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるため、使い道が限定されている。

※ 繰入金

特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金 (基金) を取り崩したお金など。

②元気で活力のあるまち・丹波竜

拡充

丹波竜化石発見現場周辺の整備

丹波竜をはじめとする世界的にも希少な化石などの価値や意義、発見地の景観などの「誇れる地域資源」を全国に発信します。【予算額】 1 億 3,094 万円

新たな取り組みをピックアップ

新

丹波竜の実寸ミニチュアを設置するなど、ふれあい広場、遊歩道、展望広場の整備を実施します。【予算額】 1 億 2,730 万円

新

地域おこし協力隊を活用し、恐竜を生かした魅力ある仕掛け、ソフトづくりを進めます。【予算額】 364 万円

恐竜を活かしたまちづくり課 ☎ 77 - 1887

③歴史・文化・芸術が息吹くまち・芸術

拡充

美術館開館 20 周年特別展・記念企画展

植野美術館は、本年、開館 20 周年を迎えます。また、市制 10 周年にもあたるこの年に、これまでの美術館の歩みを振り返るとともに、将来に向けてさらに芸術が息吹くまちづくりを進めるために、記念事業を実施します。【予算額】 2,856 万円

主な事業

・北海道立近代美術館名品選展
・松本零士展
・原田泰治の世界展
・「エンバ大賞 - 過去と現在 - 展」

美術館事務局 ☎ 82 - 5945



⑤信頼される行政・人材

拡充

人材育成・職場風土の改善

信頼される行政を再構築するために、丹波市職員人材育成基本方針のもとに、職場風土、組織構造、職員意識における課題を総合的にとらえ、人材育成と職場風土の改善に取り組みます。 【予算額】 429 万円

主な事業

・プロフェッショナル研修
・職場風土改革アドバイザーによる職場環境づくり
・自主研修グループの育成
・女性職員を中心とした政策研修

平成 26 年度新規採用職員

職員課 ☎ 82 - 0722



⑤信頼される行政・財政

【そのほか 主な新規事業】

※カッコ内は予算額

総合防災訓練 (100 万円)、暴力団の排除活動の支援 (651 万円)、集中豪雨による山水対策 (2,400 万円)、高規格救急自動車の更新 (2,657 万円)、臨時給付金 (2 億 7,770 万円)、全国消費実態調査 (85 万円)、市営住宅の長寿命化 (4,968 万円)、インターンシップを実施する企業の支援 (150 万円)、新商品等の販路開拓支援 (100 万円)、住民参加型森林整備事業の補助 (250 万円)、木質バイオマスの活用 (540 万円)、地域の森づくりの推進 (450 万円)、元気アップ住宅リフォーム事業 (2,000 万円)、人権施策基本方針の策定 (258 万円)、青垣総合運動公園の改修 (9,873 万円)

②元気で活力のあるまち・起業

新規

チャレンジできる環境づくり
起業家支援窓口を設置します

ふるさと起業支援窓口「たんばチャレンジカフェ」を開設します。
若者や女性、シニア層の新規起業や第 2 創業をめざす高い起業意欲をもった人たちに支援し、起業しやすい環境を整えます。
【予算額】 800 万円

あなたの夢
応援します



新産業創造課 ☎ 74 - 1464

②元気で活力のあるまち・観光

新規

地域の素朴な資源を生かす
ニューツーリズムの推進

人や自然とのふれ合いなど、旅先での体験・学習・交流をテーマにしたニューツーリズムを推進します。

事業内容

●丹波市ニューツーリズム交流大会
体験、学習、交流型の新しい丹波スタイルの観光についてみなさんと一緒に考える記念講演会を開催します。
●丹波スイーツフェスティバル
丹波栗をはじめとする市の特産品を活用した美味満載のスイーツの祭典を開催します。

観光振興課 ☎ 74 - 1149



④環境にやさしいまち・環境

新規

災害に強い、低炭素な地域づくり
公共施設への太陽光発電設備等の導入

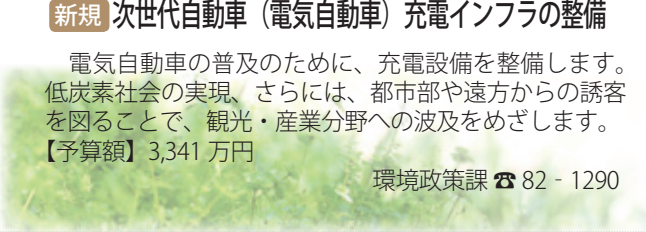
公共施設（福祉避難所）に太陽光発電設備と蓄電池を設置します。これにより、災害時に電力供給が途絶えた場合でも、施設に必要最低限の電力を供給することができます。【予算額】 7,264 万円

新規

次世代自動車（電気自動車）充電インフラの整備

電気自動車の普及のために、充電設備を整備します。低炭素社会の実現、さらには、都市部や遠方からの誘客を図ることで、観光・産業分野への波及をめざします。
【予算額】 3,341 万円

環境政策課 ☎ 82 - 1290



⑤信頼される行政・財政

継続

市債（市の借金）の繰上償還

民間の金融機関から借り入れた市債を対象に、13 億円を繰り上げて返済し、信頼される行政運営を行います。
将来の公債費（借金を返す予算）を抑制することで、平成 27 年度以降の利子の支払額で約 1 億 1,000 万円の削減効果を見込んでいます。

【予算額】 13 億円

財政課 ☎ 82 - 0029



①安心して暮らせるまち・安全

新規

「空き家条例」を制定
空き家対策を推進します

近年、市内でも空き家の数が増加しています。「安全・防犯」「環境・衛生」「景観」を守るために、「丹波市空き家等の適正管理及び利活用の促進に関する条例」を制定し、規制と活用の両面からこの問題に取り組み、みなさんの暮らしの安全・安心を支えます。

【予算額】 689 万円

生活安全課 ☎ 82 - 1532

規制と活用の
両立！



①安心して暮らせるまち・教育

新規

いじめゼロ実現に向けて
いじめ・暴力ゼロ市民運動の推進

児童生徒が安心して学校生活を送れるように、いじめ・暴力ゼロ市民運動を推進します。
「学校いじめゼロ支援チーム」を中心に、学校・家庭・地域において児童生徒の「居場所づくり」「絆づくり」「信頼づくり」を進めます。
児童生徒が主体的に取り組む「いじめ・暴力ゼロサミット」を開催し、いじめや暴力の未然防止を図ります。
【予算額】 356 万円

学校教育課 ☎ 70 - 0811



①安心して暮らせるまち・子育て

新規

安全・安心な保育を提供します
認定こども園 看護師配置費用に助成

体調不良の子どもが安心して保育を受けられるように、認定こども園での看護師配置に要する費用に対して助成を行います。
【予算額】 1,200 万円

子育て支援課 ☎ 70 - 0813

拡充

保育と学びを一体的に提供
認定こども園の推進

市では、保育機能と教育機能を一体化させた認定こども園の整備を進め、0 歳から 5 歳までの子どもに対して、年齢に応じた学びの場を提供し、健やかな成長を促します。
【予算額】 21 億 248 万円

こども園推進課 ☎ 70 - 0820

②元気で活力のあるまち・住まい

拡充

新築または新規住宅購入に
最大 100 万円を助成！
新しいいき定住促進住宅補助制度

「2 世帯同居をしたい」「U・I ターンしたい」、さらには、「U・I ターン者に持ち家を貸したい」という方が、住宅の新築や新規購入、または改修を行うときに補助を行います。【予算額】 1,300 万円

●詳細⇒ P22

新たな取り組みをピックアップ

新

中学生以下のお子さんがある世帯が、住宅を新築または新規購入した場合に、補助金を上乗せし、最大 100 万円を助成します。

地域協働課 ☎ 82 - 2272



平成 26 年度 予算

5つの基本姿勢をもとに
「誇りの持てる
住んでよかった丹波市」
をめざして着実に取り組みます

主な事業を
ピックアップ



①安心して暮らせるまち・安全

新規

土砂災害が起こりやすい地域を箇所別に予測
「箇所別土砂災害危険度予測システム」の構築

豪雨などの場合に、このシステムを活用し、土砂災害が起こりやすい状況となっている地域を箇所別に予測し、対象となる地域のみなさんに対して、早めの避難情報などをお知らせします。

【予算額】 1,200 万円

防災対策室 ☎ 82 - 0250



土砂災害発生の危険を
事前にお知らせします

①安心して暮らせるまち・子育て

新規

まちいっぱい咲かそう TAMBA スマイル
「ツープラス 1」出産祝い金を支給

子どもたちのたくさんの笑顔は、まちを元気にしてくれます。
市では、第 3 子以降を出産した世帯に対して、出産祝金を支給し、子育て負担の緩和を図り、出産機運を高めます。

支給金額

出生児 1 人につき 20 万円
※平成 26 年 4 月 1 日以降
に誕生したお子さんが対象です

社会福祉課 ☎ 74 - 1130



①安心して暮らせるまち・地域医療

拡充

地域医療対策事業

市内の医療体制の確保と救急医療を充実させるために、県立柏原病院との連携、柏原赤十字病院への支援を行うほか、両病院の統合に向けて主体的に関わり、まちの中核病院として、将来にわたって安心して医療を受けられる体制づくりを進めます。【予算額】 2 億 4,223 万円

地域医療課 ☎ 82 - 4567

拡充

看護学校の丹波市移管を進めます

平成 27 年 4 月に県立看護専門学校が丹波市に移管するにあたり、その準備を進めます。また、卒業生の市内病院等への就職を促進させ、看護師不足の解消をめざします。【予算額】 677 万円

看護専門学校準備室 ☎ 82 - 4567



5 2014. 4 たんば

2014. 4 たんば 4